

エコマップ

【エコマップとは】

エコマップ (ecomap) は、利用者を支援するために利用者を中心として、その周辺にある社会資源（家族、兄弟姉妹、友人、近隣住民、医師、各種介護関連機関など）との相関関係を、ネットワークとして表現した地図のことです。生態地図とも言われます。

1975年にアン・ハートマン (Ann Hartman) が考案したもので、主に介護、障害、医療、教育の分野で、支援記録を作成するために使われるツールです。エコマップの目的は、複雑な家族の人間関係をアセスメント（評価）し、そこに課題や可能性、解消したい不和などを見出すことです。家族とその外部に居る人々や組織との関わりを「見える化」するためのツールとも言えます。

【エコマップの書き方】

要介護者との関係性を（１）強い関係、（２）普通の関係、（３）弱い関係、（４）対立関係、という具合に分けて書きます。分かりやすさのために、線の太さを変えたり、色を変えたりして表現すると良いです。

